

令和5年度 政策（政策の柱）評価調書

分野 (大項目)	人・地域	政策の柱 (中項目)	世界に飛躍するスポーツ王国北海道の実現	政策 コード	3(5)
関係部局	環境生活部				

【政策の概要】

■地域スポーツ活動の推進と環境の充実 【3(5)A】

- 総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツ関係団体との連携・協働などを通じ、高齢者や障がいのある方々のスポーツ体験活動を含め、ライフステージに応じた地域スポーツ活動を推進します。
- スポーツ指導者の養成やスポーツ関連情報の収集・提供、道立スポーツ施設の管理運営などを通じ、道民が自ら進んで参画するスポーツ環境の充実を図ります。

■世界の舞台で活躍するトップアスリートの育成 【3(5)B】

- 関係団体と連携しながら、札幌冬季オリンピック・パラリンピック競技大会など国際レベルの競技大会やスポーツ合宿の誘致、プロスポーツとの交流の促進などにより、道民のスポーツへの関心を高めます。
- 世界の舞台で活躍するトップアスリートの育成をめざし、戦略的な選手強化及び指導者の充実により競技力の向上を図るとともに、本道出身の優れた選手の指導者への転身など、本道におけるスポーツ界の好循環の創出に取り組みます。

【社会経済情勢（現状・課題）】

（地域スポーツ活動の推進と環境の充実）

・道民が心身ともに健康で充実した生活を営むためには、生涯にわたり誰もが、それぞれの体力や年齢、性別、障がいの有無、技術、興味、目的に応じて、スポーツに親しむことができる環境の充実が求められていることから、誰もが、日常的にスポーツに親しみ、またはスポーツを楽しむことができる環境づくりを進め、スポーツ参画人口の拡大を図る必要がある。

（スポーツ合宿の誘致）

・合宿中の海外強豪チームやトップアスリートとの練習試合等の交流は、本道競技選手の強化、ジュニア期からの国際感覚を醸成する上で重要。

（世界で活躍するトップアスリートの育成）

・将来的な競技人口の減少が懸念されることから、競技人口のすそ野の拡大を図るとともに、本道の競技力をさらに向上させ、その水準を維持していくことが重要。

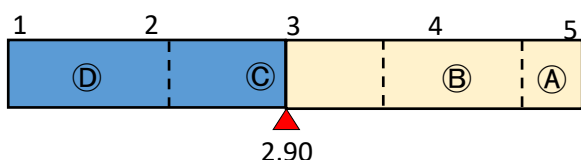
【政策を構成する施策の評価結果】

政策コード	施策コード	施策名	総合判定
A	0317	地域スポーツ活動の推進と環境の充実	やや遅れている
B	0318	世界で活躍するトップアスリートの育成	やや遅れている

【成果指標の達成状況】

施策コード	指標名	過年度①	過年度②	評価年度	評価年度目標値	達成率
0317	本道の成人の週1回以上のスポーツ実施率	59.0%	58.0%	62.0%	65.0%	95.4%
	本道の全ての市町村に総合型地域スポーツクラブ設置	97市町村	96市町村	93市町村	179市町村	52.0%
0318	本道出身のオリンピック・パラリンピック出場者数【暦年】	—	29人	60人	72人	83.3%
	本道出身のメダル獲得者数	—	9人	10人	9人	111.1%
	本道出身の金メダル獲得数	—	2人	2人	7人	28.6%
	本道出身のメダル総獲得数	—	7人	8人	6人	133.8%
	地域におけるスポーツコミッション数	19団体	19団体	19団体	21団体	90.5%

【施策評価の総合判定の平均点（目安）】



- ① 順調
- ② 概ね順調
- ③ やや遅れている
- ④ 遅れている

分野 (大項目)	人・地域	政策の柱 (中項目)	世界に飛躍するスポーツ王国北海道の実現	政策 コード	3(5)
関係部局	環境生活部				

【評価に当たっての論点】

- 地域スポーツ活動の推進と環境の充実
 - ・ 人口減少及び少子高齢化によりスポーツ関係者、スポーツ参画人口の減少、競技水準の低下が懸念
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの設置が進まず、活動状況もばらつきが見られる
- 世界の舞台で活躍するトップアスリートの育成
 - ・ 人口減少や少子化等により将来的な競技人口の減少、学校運動部活動改革に伴い子どもたちのスポーツ環境の維持・確保が課題
 - ・ スポーツ合宿の誘致
 - ⇒ 本道競技選手の強化、ジュニア期からの国際感覚の醸成
 - ・ 将来的な競技人口の減少の懸念

【政策目標の達成に向けた判定】

効果的な取組を検討

- ・ 順調に展開
- ・ 概ね順調に展開
- ・ 効果的な取組を検討
- ・ 見直しや改善が必要

いずれかの
評価を付ける

【政策の柱に対する意見（今後に向けた意見）】

〔取組の方向性〕

■ 地域スポーツ活動の推進と環境の充実

○ 道民が心身ともに健康で充実した生活を営むためには、生涯にわたり誰もがそれぞれの体力や年齢、性別、障がいの有無、技術、興味、目的に応じて、スポーツに親しむことができる環境の充実が求められていることから、誰もが日常的にスポーツに親しみ、また、スポーツを楽しむことができる環境づくりを進め、スポーツ参画人口の拡大を図る必要がある。

○ 幅広い年齢や様々な競技レベルの方々がスポーツを楽しむ場として総合型地域スポーツクラブの育成に取り組んできたが、クラブのある市町村は全市町村の約半数にとどまっており、それぞれの活動状況にもばらつきが見られることから、クラブの設立を支援する取組が必要である。

■ 世界の舞台で活躍するトップアスリートの育成

○ 合宿中の海外強豪チームやトップアスリートとの練習試合等の交流は、本道競技選手の強化、ジュニア期からの国際感覚を醸成する上で重要であることから、スポーツ合宿の誘致が必要である。

○ 将来的な競技人口の減少が懸念されることから、競技人口の裾野の拡大や本道の競技力の向上が必要である。

〔意見（政策の柱）〕

◎ 「世界に飛躍するスポーツ王国北海道の実現」は、構成する施策の成果指標による判定では「やや遅れている」となっており、人口減少、少子高齢化の進行によるスポーツ関係者、スポーツ参画人口の減少や競技水準の低下への懸念のほか、総合型スポーツクラブの設置が低調であることなどから、競技人口の裾野の拡大や本道の競技力の向上に向けた取組、合宿の誘致、スポーツを親しむことができる環境の整備など、本道スポーツのさらなる振興、発展に向け、効果的な取組を検討する必要がある。